

Ⅲ 共益関係

1. 会員支援のための親睦・交流及び福利厚生に資する事業

(1) 組織の強化・充実

会員増強に関しては、経済の低迷が長期にわたり続いたことから、廃業や合併等が増加し、会員の減少に歯止めがかからない状態です。

そこで平成28年度も「前年以上の会員数確保」を基本方針とし、「役員1人1社獲得」を必達の目標として推進しました。

なお、保険会社3社、税理士会、青年部、女性部及び各地域部会にも例年通り協力を要請しました。

① クオカードの贈呈

全法連の施策にあわせ、年間を通じ（4月～3月）、新規会員獲得者にクオカードを贈呈する施策を実施。

② 新設法人データの活用

③ 各研修会、税務説明会の会場で入会を勧誘

④ 会員企業の転出の際に、転入先の単位会から連絡させる。地域（単位会）を超えた会員紹介の実施。

会員数 推移

所管法人数	会 員 数			加入率%	29年3月末
	27年12月末	28年12月末	増減数		
1,690	776	761	△15	45.9%	741

(2) 広報活動の充実

① ポスターによるPR

ポスターには、引き続き杉山愛さんをイメージキャラクターとして起用し、「税の活動で企業・社会に貢献 法人会」をキャッチフレーズとしました。

(3) 部会等事業の充実

会議、研修等 開催状況

	事業	開催数 (回)	出席者数(人)
青年部会	通常総会	1	7
	役員会等	3	25
	研修会	2	88
	租税教育活動	41	173
	その他の会議等	1	6
女性部会	通常総会	1	11
	役員会等	3	25
	研修会	6	88
	租税教育活動	2	4
	その他の会議等	1	6
5地域部会	通常総会	3	68
	役員会等	7	59
	研修会	10	704
	その他の会議等	3	10

① 青年部会の活動

- ・租税教育活動として、小学生対象の「租税教室」を実施

(詳細: II 公益関係 1. 税を巡る諸環境の整備改善事業 (2) 租税教育活動)

② 女性部会の活動

- ・租税教育活動として、小学生対象の「税に関する絵はがきコンクール」を実施

(詳細: II 公益関係 1. 税を巡る諸環境の整備改善事業 (2) 租税教育活動)

- ・社会貢献活動として、税金クイズを実施

(詳細: II 公益関係 3. 地域の経済社会環境の整備・改善を図るための事業 (2) 社会貢献活動)

- ・社会貢献活動として、研修会等開催の都度、タオルを収集、福祉施設へ寄贈

部員数 推移

	27年3月末	28年3月末	29年3月末
青年部会	29名	16名	16名
女性部会	37名	37名	35名

(4) 福利厚生事業

全法連の福利厚生制度は、会員企業の安定経営の面で、また法人会の会員増強や財政基盤確保の面で大きなメリットをもたらすものであり、厚生委員会が中心となって活動を展開しました。

① 福利厚生制度連絡協議会の開催

法人会と福利厚生制度委託保険3社との連携を密にするため、福利厚生制度連絡協議会を開催しました。(連絡協議会 28.9.21、連絡会議 29.3.28)

② 保険3社の加入状況について

保険3社の加入状況 (平成29年3月現在)

	大型保障制度	ビジネスガード	がん保険制度
会員加入率	19%	14.4%	22.2%
加入企業数	146社	110社	170社

③ 3年10億円増収計画

福利厚生制度「3年10億円増収計画」の最終年度となる平成28年度は、新津法人会においても、協力3社との連携のもと、積極的に推進しました。

(5) 会員支援事業

会員企業の経理担当者の表彰

勤続10年以上の経理担当者で、経営者が特に推薦する人を対象に毎年1回表彰を行っています。

優良経理担当者表彰式

開催日 平成28年6月9日

場 所 割烹 新森

受彰者 5社 5名

表彰の趣旨

企業の経営にとって経理と税務は極めて大きなウェイトを占めていることはいままでもない。経理担当職員は、企業にとっては最も中枢的な部門を担当しているもので、その資質の良否が企業の伸長に直接影響するところが甚だ大きい。これら経理担当職員のうち、功労顕著な方々を表彰し、その労苦に報い、今後とも企業の発展に努力されるよう大いに期待するものである。